

施策番号	0903		
施策名	国際MICE都市～国際会議，企業研修旅行，イベント等による国際集客都市～への飛躍		
概要	MICEの誘致・振興は，京都ブランド・都市格の向上，市民生活の活性化，経済効果など，社会的及び経済的両面において京都の都市活力を支え，向上させるものであるとともに，京都観光の質の向上に寄与することが期待され，都市戦略として全市を挙げてMICEの誘致・振興に取り組む。		
担当局・部室	産業観光局・観光MICE推進室	共管局・部室	
上位政策	9 観光		
施策に関する主な分野別計画等	京都市MICE戦略2020		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名	27年度	28年度	29年度評価						
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウエイト	
1 コンベンション開催件数の世界順位(位)	a	a	57	44	46	104.3%	a	1.00	
2 コンベンション参加者数(人)	a	a	153,495	199,178	153,495	129.8%	a	1.00	
3 コンベンション外国人参加者比率の国内順位(位)	-	b	2	1	1	-	a	1.00	
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価

*この評価は，毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	27年度	28年度	29年度回答						
			そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	有効回答者数	評価
1 京都は，国際会議などが盛んに開かれるMICE（企業のミーティング，企業研修旅行，国際会議，イベントなどの総称）都市になってきている。	b	b	75 17.1%	176 40.1%	146 33.3%	33 7.5%	9 2.1%	439	b
2 -	-	-							-
3 -	-	-							-
4 -	-	-							-
5 -	-	-							-
		b	b	市民生活実感調査総合評価					b

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					28 年度	B
	重み付け	<input type="checkbox"/> 客観指標	a	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の実感	b		
(重み付けの理由) 観光客だけでなく市民にとっても満足度の高い観光振興を図ることを目的としており、市民生活実感評価を重視して評価することが妥当であると考えため						27 年度	B
(原因分析) 客観指標総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 <input type="checkbox"/> c評価以下であり、次の原因が考えられる。							
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 <input type="checkbox"/> c評価以下であり、次の原因が考えられる。							

今後の方向性の検討

＜この施策を構成する事務事業＞

	事業名	事業費の状況(千円)		29年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		28年度 決算額	29年度 予算額		
1	コンベンション等MICE推進事業	84,390	80,298	良い	産業観光局
2	グローバルMICE都市としてのMICE戦略推進事業	15,979	11,298	良い	産業観光局
3	MICE戦略2020推進事業	0	6,606		産業観光局
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

＜今後の方向性＞

・平成26年10月に策定した「京都市MICE戦略2020」に基づき、京都文化交流コンベンションビューローと連携のうえ、京都の多様な魅力を活用しながら、開催支援メニューの充実、産学公連携の強化など、主催者が京都を選択しやすい環境を整えることで、京都にふさわしいMICE誘致の強化を図る。

施策名	0903	国際MICE都市～国際会議、企業研修旅行、イベント等による国際集客都市～への飛躍
-----	------	--

指標名	コンベンション開催件数の世界順位（位）	
-----	---------------------	--

担当課	観光MICE推進室	連絡先	746-2255
-----	-----------	-----	----------

1 指標の説明

1年間に京都市域内で開催された会議で、日本を含め3箇国以上から総勢50名以上の参加のあった国際会議件数の世界順位

2 指標の意味

経済、文化、国際交流等の様々な分野への波及効果を伴う国際MICE都市の実現に向けた進捗状況を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：国際会議協会（ICCA）「国際会議開催統計」

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	単年度目標値		達成度
	27年度	28年度		数値	根拠	
数値	57	44	13位上昇	46	平成25年実績（55位）と平成32年度目標値から各年度の目標を等差的に設定（年2.86順位上昇）	104.3%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値	35	32年度	74.3%	京都市MICE戦略2020	

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：80%以上
b：60%以上～80%未満
c：40%以上～60%未満
d：20%以上～40%未満
e：20%未満

6 基準説明

当該指標については、民間部門の寄与度が比較的高いことや景気動向にも影響を受けるため、80%以上をa、以下20%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

27	28	29
a	a	a

指標名	コンベンション参加者数（人）	
-----	----------------	--

担当課	観光MICE推進室	連絡先	746-2255
-----	-----------	-----	----------

1 指標の説明

1年間に京都市域内で開催された会議で、日本を含め3箇国以上から総勢50名以上の参加のあった国際会議に参加した人数

2 指標の意味

経済、文化、国際交流等の様々な分野への波及効果を伴う国際MICE都市の実現に向けた進捗状況を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：京都文化交流コンベンションビューロー「京都開催の国際会議」、日本政府観光局（JNTO）「国際会議統計」

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		達成度
	27年	28年		数値	根拠	
数値	153,495	199,178	45,683人増	153,495	過去5年間の最高値	129.8%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値					数値の公表時期の関係により、評価は暫定値で行う。前回数値については実数に修正している。

5 評価基準

最新の数値が過去5年間の
a：最高以上
b：上中間値（最高値と平均値の中間値）以上～最高値未満
c：平均値以上～上中間値未満
d：下中間値（平均値と最低地の中間値）以上～平均値未満
e：下中間値未満

6 基準説明

各年度の具体的な数値目標の設定が困難であるため、過去5年間の数値の推移で評価する。

最高値 153,495人（平成27年）
平均値 115,208人
最低値 84,391人（平成23年）

7 評価結果

27	28	29
a	a	a

施策名	0903	国際MICE都市～国際会議，企業研修旅行，イベント等による国際集客都市～への飛躍				
指標名	コンベンション外国人参加者比率の国内順位（位）					
担当課	観光MICE推進室	連絡先	746-2255			
1 指標の説明						
1年間に京都市域内で開催された会議で，日本を含め3箇国以上から総勢50名以上の参加のあった国際会議に参加した外国人比率の国内主要都市（グローバルMICE戦略都市及び強化都市7都市）順位1位の堅持						
2 指標の意味			3 算出方法・出典等			
経済，文化，国際交流等の様々な分野への波及効果を伴う国際MICE都市の実現に向けた進捗状況を示す指標			出典：日本政府観光局（JNTO）「国際会議統計」			
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	26年	27年		数値	根拠	達成度
数値	2	1	1位上昇	1	国内主要都市順位1位の堅持	-
	全国順位	中長期目標				
		数値	目標年次	達成度		
数値	1	32年度	-	京都市MICE戦略2020		
備考	算定に用いるデータの収集期間の関係から，平成27年値が最新となる。					
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果		
最新数値が a：1位 b：2位 c：3位 d：4位 e：5位以下		当該指標については，民間部門の寄与度が比較的高く，景気動向にも影響を受けるものの，目標を上回することは不可能ではないため，1位をaとし，以下， bを2位 cを3位 dを4位 eを5位以下とする。		27	28	
				-	b	
					29	
					a	